

区分	科目	1年次		2年次		3年次		4年次		DP	DP	DP	DP	DP
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	①	②	③	④	⑤
専門科目	指揮実技(含演奏理論・楽曲分析)Ⅰ-1									●	●		●	
	指揮実技(含演奏理論・楽曲分析)Ⅰ-2									●	●		●	
	指揮実技(含演奏理論・楽曲分析)Ⅱ-1									●	●		●	
	指揮実技(含演奏理論・楽曲分析)Ⅱ-2									●	●		●	
	指揮実技(含演奏理論・楽曲分析)Ⅲ-1									●	●		●	
	指揮実技(含演奏理論・楽曲分析)Ⅲ-2									●	●		●	
	指揮実技(含演奏理論・楽曲分析)Ⅳ-1									●	●		●	
	指揮実技(含演奏理論・楽曲分析)Ⅳ-2									●	●	●	●	●
	指揮実技(オーケストラ)									●	●	●	●	●
	指揮実技(オーケストラ)									●	●	●	●	●
	指揮実技(オーケストラ)									●	●	●	●	●
	指揮実技(オーケストラ)									●	●	●	●	●
	指揮実技(オーケストラ)									●	●	●	●	●
	指揮実技(オーケストラ)									●	●	●	●	●
	指揮学内演奏									●	●	●	●	●
	指揮卒業演奏									●	●	●	●	●
	スコアリーディングⅠ									●			●	
	副科ピアノⅠ									●		●	●	
	ソルフェージュA 2									●			●	
	和声中級									●				
和声上級									●					
弦管打楽器実技Ⅰ(副科実技)									●		●	●		
スコアリーディングⅡ									●			●		
副科ピアノⅡ									●		●	●		
ソルフェージュB									●			●		
音楽分析										●				
西洋音楽史										●				
弦管打楽器実技Ⅱ									●		●	●		
副科独唱									●		●	●	●	
副科合唱									●		●	●	●	
共通科目	一般教養科目										●			
	専門基礎科目										●			
	外国語科目													●

指揮科では、実技レッスンの他に楽曲・楽書の研究をはじめ、指揮者になるための様々な知識を学び経験します。その学びをもとに、卒業後は有能でプロフェッショナルな指揮者として活動することを目指し、音楽的、芸術的に優れたリーダーシップを持ち、広く社会に貢献することができる音楽家となることを大きな目標に掲げています。

(1)オーケストラ指揮者を目指すカリキュラム

学部1年～3年は年に1回、4年生では学内演奏会も含み、年2回の藝大フィルハーモニア管弦楽団(プロオーケストラ)を指揮する機会があります。これは、卒業後に、プロの現場で通用する指揮者を目指し育成するためのカリキュラムです。
その準備として、指揮実技(オーケストラ)では(2台のピアノによる)マンツーマンのレッスンとなっており、学年により以下のカリキュラムで学びます。
1年次:古典派の作品を中心とした指揮/2年次:古典派及びロマン派の作品を中心とした指揮/3年次:ロマン派の作品を中心とした指揮/4年次:古典派から近現代まで、総合的な指揮(ディプロマポリシー ①②③④⑤)

(2)指揮者に必要な知識を得る

指揮実技(演奏理論・楽曲分析)については、以下について、スコア(総譜)や楽書、理論書より学ぶカリキュラムとなっています。
1年次:古典派を中心とした作品から演奏理論、時代様式、楽曲分析等を学ぶ/2年次:古典派及びロマン派を中心とした作品から演奏理論、時代様式、楽曲分析等を学ぶ/3年次:ロマン派を中心とした作品から演奏理論、時代様式、楽曲分析等を学ぶ/4年次:古典派から近現代までの作品から、演奏理論、時代様式、楽曲分析等、総合的に学ぶ
上記と併せて、和声をはじめとする音楽理論、スコアリーディング、楽器演奏法などを学び、指揮者に必要な知識を身につけます。(ディプロマポリシー ①②③④)

(3)卒業後に向けて

音楽的、芸術的に優れたリーダーシップを身につけ、広く社会に貢献するために、語学を中心とした必要な教養や科目を受講することができます。(ディプロマポリシー ②⑤)

(4)オーケストラでの発表機会

学部1年～3年は、学年末試験として、藝大フィルハーモニア管弦楽団(プロオーケストラ)を指揮する機会があります。また4年次には、オーケストラを指揮しての「学内演奏会」や「卒業演奏会」を行います。(ディプロマポリシー ①②③④⑤)

その他

指揮の実技レッスンとしては、通常の担当教員のレッスンの他、海外から招聘した指揮者によるマスタークラスを行っており、国内のみならず、国際的にも通用する指揮者を育成することを目指しております。
学生オーケストラとの公演の同行や、木曜コンサートの出演(指揮及び指揮・オペラの年2回)が予定されており、より多くのオーケストラやオペラ、合唱等を、指揮、指導する機会を設けています。

指揮専攻修士課程は、より専門的な指揮技術と音楽理解の深化の研究を目的としています。カリキュラムには、実践的な「指揮実習」や「指揮演習」、オーケストラやオペラに特化した「指揮オーケストラ特殊研究」や「指揮オペラ特殊研究」が含まれます。また、「指揮楽書特殊研究」ではスコアリーディングの高度な技法を学び、「原典特殊講義」では音楽の原典資料に基づく解釈を追求します。これらの科目を通じて、理論と実技の両面から指揮者としての総合力を養成します。